

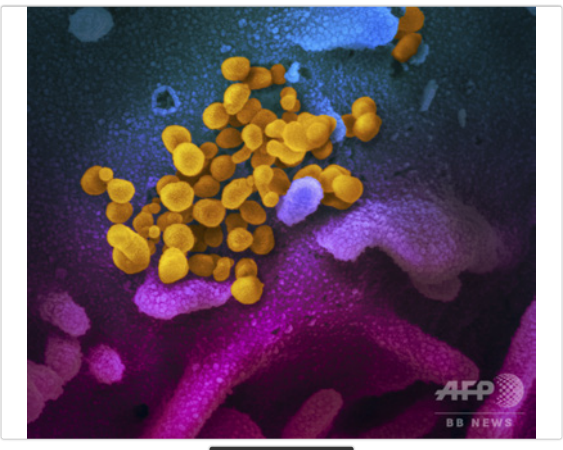


あなたの色で、世界が変わる。富士通が変わる。キャリア採用 募集中! FUJITSU

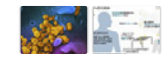
ニュース ライフ 新型コロナウイルス感染症「COVID-19」

コロナ空気感染の可能性、世界の科学者239人が警鐘

2020年7月7日 6:13 発信地: ワシントンD.C./米国 [米国, 北米]



新型コロナウイルス（黄色）をとらえた電子顕微鏡写真。米国立衛生研究所提供（2020年2月27日提供）。(c)AFP PHOTO / NATIONAL INSTITUTES OF HEALTH/ NIAID-RML/HANDOUT



【7月7日 AFP】世界の科学者239人が6日、新型コロナウイルスに関する共同意見書を発表し、世界保健機関（WHO）などの当局に対し、同ウイルスが2メートルをはるかに超える距離で空気感染する可能性があることを認識し、それに応じて感染防止策を見直すよう訴えた。

【図解】せきはどこに行くか

意見書はオーストラリア・クィーンズランド工科大学（Queensland University of Technology）のリディア・モラウスカ（Lidia Morawska）教授が筆頭執筆者となり、英オックスフォード大学（University of Oxford）の学術誌「臨床感染症（CID）」に掲載された。



科学者らは、ウイルスが空気中で数十メートル移動できることが「合理的疑いの余地なく」示されており、これが新型コロナウイルスについても当てはまることが複数の感染事例の分析で示されたとしている。

また、「手洗いや対人距離の確保は適切だが、私たちの見解では、感染者が空中に放出するウイルスを含む微小飛沫（ひまづ）からの保護には不十分だ」と言明。対策として、屋内では換気を良くすること、高効率エアフィルターと紫外線ランプを導入すること、建物内や公共交通機関での混雑を避けることを推奨している。

感染者がせきやくしゃみをする、さまざまな大きさの飛沫が放出される。直径5〜10マイクロメートル以上の飛沫は1〜2メートルですぐに地面に落ちるが、それより小さな飛沫は「エアロゾル」と呼ばれる霧状の微粒子となり、はるかに長い間空中を浮遊し、遠くまで移動する。

新型コロナウイルスを含む微粒子の感染能力については科学界で激しい議論が交わされてきたが、WHOは今のところ、こうした感染は患者が人工呼吸器を装着した場合など、病院内の「特定の状況」でのみ起こるとしている。

一方、新型コロナウイルスの拡散事例に関する研究では、微粒子による感染が病院内に限定されないことが示されている。米疾病対策センター（CDC）の専門誌「新興感染症（Emerging Infectious Diseases）」に掲載された論文によると、1月に客の集団感染が起きた中国のレストランでは、新型コロナウイルスが空調によって複数のテーブルに運ばれたとみられている。(c)AFP



特集：新型コロナウイルス感染症「COVID-19」 中国・武漢市から世界各地に感染が広がった新型コロナウイルス。

ビューティチェンジ キャンペーン 4人のプロフェッショナルがあなたを素敵に変身! 応募期間 7月1日(水)〜8月31日(月) 今すぐ応募する

特集：新型コロナウイルス感染症「COVID-19」

Top stories



香港国家安全法は「全体主義的」、ホンベオ米国務長官が批判

避難所にはコロナ懸念でバーベキュー、九州豪雨 救助難航

中国で隣ベスト、感染1人確認 当局が警戒

ナオミ・キャンベルさん、業界に「もっと多様性」を呼びかけ

トランプ氏とNASCAR黒人ドライバーが舌戦、輪転機めぐり



Newchic

Special PR

【特集】新型コロナ感染症「COVID-19」最新情報も含め、関連ニュースを随時配信

AFP×教育 「記憶に留めておく一枚の報道写真」

「時事トレンド」に注目！グローバルな視点で世界を見渡してみよう

ライフ一瞥へ >

メディア・報道関係・法人の方向け 写真・動画 購入のお問合せ >

関連記事

